

安曇野市男女共同参画推進会議はシトラスリボン運動を推進しています

## シトラスリボン活動



～ 作ることで愛着が湧き、身につけることで意識が変わる ～

21世紀は「人権の世紀」と言われています。安曇野市では、目指す社会像として「こころ通い合う男女共同参画社会 安曇野」を掲げています。人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりを進めることにより、多様性を理解し合い、誰もが安心して暮らせることを願っています。新型コロナウイルスの流行が長期化する中、ほたか支部では人権啓発の一環として、シトラスリボン活動を行いました。

「シトラスリボン」とは誰もが新型コロナに感染するリスクがある中、例え感染しても感染者や医療従事者が差別されることなく、それぞれの場所で受け入れられる雰囲気を作り、思いやりのある暮らしやすい社会を目指す愛媛県の有志グループが進めるプロジェクトのシンボルマークで、リボンの表す三つの輪は、「地域・家庭・職場(学校)」です。

このプロジェクトに賛同し、シトラスリボンの輪を広げるために、ほたか支部は民間の郵便局と連携しました。4月21日穂高会館で開催した「リボン製作と活用について」の事業には20人が参加し、リボン作りと地域配布の準備をしました。穂高の4つの郵便局ではコロナ禍での地域貢献を考えており、局員手作りのシトラスリボン配布だけでなく、オリジナルグッズと手紙をパッケージするなどの工夫もあって、多くの地域の方々の関心も高まったようです。

このような活動を広げるためには、様々な人と意識共有を図ることが大事で、広報活用や情報交換の場作りを今後活かしていきたいと考えています。

(安曇野市男女共同参画推進会議 ほたか支部長)

## 外国人向けの相談会に9人の方が参加

県多文化共生相談センター出張相談会 in 安曇野 (共催：安曇野市)



安曇野市役所内で7月20日(火)午前10時から午後3時までの間、県多文化共生相談センター主催による出張相談会を開催しました。この相談会は昨年に続き2回目で、地域に住む外国人向けの相談会です。15の言語で、弁護士、司法書士、行政書士への専門的な相談のほか、外国人に関わる日本人の方や外国人材の雇用についての相談にも対応するかたちで行いました。

当日は、国民年金の支払いに関すること、介護保険のサービス内容に関する問い合わせ、在留手続きに関することなど9人の方からの相談に、前述の連携した専門家の方々、また同センターの相談員と市役所の各担当職員が応じました。

相談会を開催して、市からの情報発信について情報の多言語化や、「やさしい日本語」の活用により必要かつ正確な情報を届けるための取り組みが重要だと感じました。そのうえで心配事などの解決の場として、専門家や関係機関と連携しながら相談会を継続していくことが大切だと考えています。

(人権男女共同参画課)

## 安曇野市男女共同参画 2021年10月

14号

# 湧 愛

YOU & I

編集・発行  
安曇野市男女共同参画推進会議  
安曇野市 総務部 人権男女共同参画課

安曇野市豊科6000番地(2階 8番窓口)  
電話：(0263) 71-2406  
FAX：(0263) 71-5155

## 第5次長野県男女共同参画計画に加えられた新たな4つの視点

7月17日、市役所大会議室で市男女共同参画フォーラム2021を男女共同参画フォーラム実行委員会と安曇野市の主催で開催しました。「育メン・家事メン フォト&エピソード」の結果報告会(詳細は3ページ)や県男女共同参画センターの講座をオンラインで視聴、約50人が参加しました。

市では、来年度に第4次男女共同参画計画(計画期間：令和5年度～令和9年度)を策定予定です。そのため、今回は今年6月に策定された県の第5次計画などを学ぶ機会となりました。講座では、世界に後れを取っている日本の現状や「ジェンダー平等」の世界的潮流などの説明、長野県の課題など、幅広く男女共同参画の現状を学びました。

県の第5次計画では、新たに①「時代の変化を先取りして働き方・暮らし方を変革する」②「若者に選ばれる県をめざす」③「SDGsの理念を踏まえ、ジェンダー平等の視点を浸透させる」④「ダイバーシティ(多様性)の視点を取り込む」の4つの視点が加えられています。

男女共同参画と聞くと「女性を優遇する」といったイメージを抱かれやすいですが、女性が活躍できるような社会・職場にしていくと、結果的に男性も、障がいのある方も、LGBTや外国人等多様な人材が同じように活躍できるようになるということを知り、誰もが生きやすい優しい社会を目指したいと改めて感じることができました。

(人権男女共同参画課)



### ～ もくじ ～

- 1頁 ◆ 安曇野市男女共同参画フォーラム開催
- 2頁 ◆ コミュニケーターのあゆみ
- 3頁 ◆ 育メン・家事メン フォト
- 4頁 ◆ シトラスリボン活動

## 安曇野市男女共同参画コミュニケーターのあゆみ

2009年4月22日、安曇野市で委嘱式が行われました。長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”で、1年間の地域リーダー養成講座を受講した人を中心に15人のコミュニケーターの誕生です。「コミュニケーターってどんなことやるの?」なんとなくつかみきれない、あの時の不安な15人の顔を思い出します。市民と行政のパイプ役として、広報・啓発等により男女共同参画を広め、進めていくのが役目との説明を受け、活動を開始しました。活動のための講座を開くなどして、コミュニケーター一人ひとりが進んで活動してみようということで、活動内容の状況を提出することにしたのですが、個人で活動するのは難しく、うまくいきません。



2009年4月 委嘱式の様子

そこで、男女共同参画カルタが思い浮かびました。これは、2007年12月に開催された講演会「アナウンサー夫婦奮闘記」(当時フジテレビアナウンサーであった笠井信輔氏の講演)の会場で読み札を募集してできたものです。このカルタを寸劇に展開し、ペープサート劇(うちわ型紙人形劇)で啓発活動に使えるのではないかと考え、まず寸劇を作成しました。次の課題は、劇に使う人の顔の絵です。子どもが描いた絵がいいなと思い、2011年5月、堀金小学校へお願いに行きました。快く引き受けてくださり、絵ができました。そうして完成したペープサート劇は、安曇野市男女共同参画フォーラムや人権に関する講座の時などに、アトラクション(出し物)として、やらせていただきました。まさに老若男女みんなで作った、男女共同参画の実践だったと感じています。

その後、男女共同参画の広報紙(2015年3月創刊号)を発行することにし、「湧愛(You & I)」と名付けました。コミュニケーターは編集・発行作業の実務を担当することになり、年2回の発行で現在まで続いています。カルタだけの活動より、さらにわかりやすく男女共同参画について伝えることができました。

しかし、コミュニケーターのなり手も減り、コロナ禍も重なったこともあって活動がままならず、存続が難しくなり、この度の委嘱は見送りとなりました。今までご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

(元コミュニケーターリーダー、安曇野市男女共同参画推進会議 推進員)

コロナ禍で

### 再就職や転職を目指す皆さまへ

求職支援制度があります。

月10万円給付金



無料の職業訓練



就職サポート

託児サービス付の  
訓練コースなどもあります!



詳しくは、ハローワークにご相談ください。

## 「育メン・家事メン フォト&エピソード」



市では、男女共同参画週間(6月23日~6月29日)に合わせて、男性のワークライフバランス(仕事と生活の調和)の実現を図ることを目指し、男性の家事や育児に関する写真やエピソードを募集しました。今年で2回目の取り組みです。今回は8作品の応募があり、写真を展示した際には「子どもとお父さんの視線やしぐさから家族への愛情や信頼を感じる」といったメッセージも多く寄せられました。14号と15号の2回に分けて、全作品を掲載します。



いっしょに楽しい歯みがき  
(竹内 美奈子)



耳かき  
(伊藤順子)



我が子  
(ヒロ)



父ちゃんのお弁当、  
はやくたべたい!  
(も~ちゃん)

### インターンシップの学生さんの感想

8月23日~27日にかけて、インターンシップとして参加させていただきました。大学のゼミでは男女共同参画や多文化共生について学んでいますが、実際に行政の現場で取り組みや支援に携わっている職員、地域の方々のお話をお聞きすることができたことで、より現実に即した学びを得ることができました。男女共同参画や多文化共生は一朝一夕で実現されるものではありませんが、地域で熱意や問題意識をもった方々が実現に向けて取り組んでいる姿を見て、自分ももっと学ばなければと思いました。お忙しい中このような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

(U・K)

